

STU48メンバー、「SEA SPICA（シー スピカ）」のロゴを塗装！

2020年、瀬戸内の島めぐり観光専用的高速クルーザー「SEA SPICA（シー スピカ）」が誕生します。



前回の反転式に引き続き、今回は STU48 の甲斐心愛（かい・ここあ）さんと藪下 楓（やぶした・ふう）さんが 広島県尾道市の造船所「瀬戸内クラフト株式会社」を「せとうちパレットプロジェクト」の取材で訪問し 銀色に輝くアルミの船体を塗装する工程を見学しました。



船体塗装は、デザイン性や質感を高めるとともに、金属でできた船体を保護するという重要な役割があります。

アルミは、海水中では電氣的な作用で腐食する「電食」により、表面が白くなって腐食してしまうので、電食を起こさないアルミ専用の塗料を必ず使用します。



船の塗料には、海水に浸かる部分に塗られる『船底塗料』と、それより上部の船体に塗られる塗料の2種類があります。

船底塗料は、海水中でカキやフジツボといった貝類や海藻類が船底に付着し、それが抵抗となって船の速力が落ちることを防ぐため、塗料表面から分解されることで常にキレイな状態を保ちます。一方、上部構造では腐食を防ぐと共に美観に重視した塗料が使われます。

最後に STU48 の 2 人が、緊張しながらも勢いよくロゴを塗装しました！





レポートの詳細は、「せとうちパレットプロジェクト」の HP をご覧ください。
<https://www.setouchi-palette.jp/>

中国運輸局は、これからも多くの方にアンバサダー等を通じて「SEA SPICA」
就航までの様子をお伝えします！

了